

アイ・あい だより



6月号

あっという間に春が過ぎ去り、梅雨の季節になりましたね。アジサイやカタツムリなど、この時期ならではの自然に触れたり、お気に入りの雨具を用意したりして、ジメジメとした日々でも楽しみながら過ごしましょう。



5/14(日) 体育祭を開催しました！！



今年の体育祭の予行・本番はあいにくの雨で延期となってしまいました。

しかし、体育祭当日はとても良い天気で、一人一人が力を発揮し、輝く姿を見ることができました。保護者や観客の皆さんにも参加していただいた交流演技も、大変盛り上がりました。

視覚特別支援学校ならではの伝統的な競技です。アイマスクをつけ、グラウンドの中心に固定されたロープをピンと張った状態で円を描くように走ります。



円周走

中学部と高等部の競技です。二人三脚や大玉転がし、タイフーンなどで競いました。

幼児児童生徒、教員や保護者の方など、ヤクシー！ハラショー！の掛け声もぴったりでした！



パラエティール



フォークダンス

「歩行」小百科



(歩行訓練士から)

「自分の力で、いつでも、どこにでも、思うとおりに歩いて行ける。」
何でもないことのように思えますが、視覚に障害がある人にとっては、とても大きなことです。自分の気持ちで家から外に出て自由に歩けるといことは、生活の中で様々な意欲につながり、生活の質も向上していきます。そこで今月からこのコーナーで歩行に関する事柄をシリーズでお伝えしていきます。初めは歩行に必要な「基礎的な力」についてです。

「基礎的な力」には、**知識**、**感覚・知覚**、**運動**、**社会性**、**心理的課題** の5つがあります。これらの力は、見えていれば、自然に身につけていく力ですが、視覚に障害があると、教えていかなければ、しっかりと獲得することが難しい力なのです。特に全盲のこどもたちには、ひとつひとつをていねいに教えていかなければなりません。さらに、言葉は知っていても、実態や意味、動きがわかっていないこともあります。改まって教えるばかりではなく、日常生活の中でタイムリーに教えていければいいですね。

この「基礎的な力」の中から、今月は **知識** について説明します。
「知識」は、おおざっぱに2つに分けられます。

『① 自分自身や自分と環境との関係に関すること』

- 自分の身体のイメージ(頭・耳・膝などの各部位の場所についての知識)。前後左右上下の方向や およその長さ・高さがわかり、動いたり手足を動かすことができる力。
- 自分中心の左右や相手中心の左右がわかり、言葉にしたり、動いたりできる力。
- 様々な基点からの方向や方角、方角を使った事物の名前(例：東階段、西出口)、自分との位置関係などがわかる力。

『② 歩く環境にある事物に関する知識と理解』は、次号で紹介します！

6月17日(土) 第1回 授業公開・視覚障害児童生徒担任交流会
6月27日(火) 第1回 保護者交流会

6月

7月

7月26日(水) サマースクール

- 時間 10:00~12:15 ※受付 9:30~9:45
対象 教育相談に来られている幼児児童生徒および その保護者
内容 子ども・・・プールでの水遊び 保護者・・・情報交換会
参加費 100円
持ち物 水着・水泳帽・タオル・ビーチサンダル・プールの用意・お茶
その他各自必要なもの

サマースクールの参加を希望する方は、**7月11日(火)まで**にお申し込みください！